

災害対応ロボット・機器向け通信システムの技術的条件にかかる提案募集の結果

標記について、情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会において、「災害対応ロボット・機器向け通信システムの技術的条件」の調査・検討の開始に際し、平成 25 年 6 月 28 日から 7 月 18 日までの期間において、技術的条件の提案募集を行った。

その結果、下記のとおり、9 者から提案募集があった。

記

提案者	主な提案内容
東北大学大学院 情報科学研究科 田所 教授 東京大学大学院 工学系研究科 浅間 教授	災害対応ロボット・機器の利用シーン、要求条件、当該ロボット・機器について大学等研究機関も利用可能な枠組みの制定等についての提案及び要望。
シュビキスト テクノロジーズ ギルド	周波数チャネルの 2 次利用の優先度設定メカニズム及びシミュレーション等を用いた事前与干渉評価に関する提案。
パナソニックモバイル コミュニケーションズ株式会社	変調方式に OFDM を採用するほか、通信断に強い再送方式、データマッピング方式を採用すべきという提案及び災害対応ロボット・機器におけるアプリケーションに関する提案。
東北大学大学院 工学研究科 永谷 准教授	災害対応ロボット・機器の利用シーン、要求条件、当該ロボット・機器について大学等研究機関も利用可能な枠組みの制定等についての提案及び要望。
芝浦工業大学 工学部 電気工学科 油田 特任教授	災害対応ロボット・機器の利用シーン、要求条件等についての提案。
株式会社フジテレビジョン	テレビホワイトスペースにおける災害対応ロボット・機器向け通信システムの技術的条件について、「ホワイトスペース利用システムの共用方針」及び「ホワイトスペース利用システムの運用調整の仕組み最終取りまとめ」に適合するものとすべきであるという提案。
日本無線株式会社	公共ブロードバンド移動通信システムの周波数帯を使用する災害対応ロボット・機器向け通信システムは、公共ブロードバンド移動通信システムと排他的に利用できるものとすべきという提案。 また、排他的に利用可能でない場合は、以下の 2 点を満足するものであるべきという提案。

	<p>1 公共無線システム委員会報告（平成 22 年 3 月）の内容に沿った技術内容であること。</p> <p>2 同一方式同一モードの同期通信システムであること。</p>
株式会社日立製作所	「TVホワイトスペースを活用した災害・防災向けデータ伝送システムの周波数共用技術に関する検討」の成果に基づく技術的条件、共用条件等の提案。
株式会社国際電気通信基礎技術研究所	多重化方式に NC-OFDM（狭帯域の OFDM サブキャリアを広帯域に分散配置し、一括して利用することで伝送帯域を確保する方式）を採用すべきという提案。

以 上